

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 024	提案機関名 神奈川県植木生産組合連合会
要望問題名 植木ほ場における除草作業の省力化	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 植木は露地に植栽された地下部を堀上げ出荷する。根鉢に雑草の植物体はもとより、種子の混入も商品品質を著しく低下させる。そのため、地際部分をはじめ、園全体の除草は重要な作業であり、多くの時間、労力、薬剤を要している。また、生産者の高齢化、後継者の減少は他作物と同様に進んでおり、省力化・機械化が強く望まれるが、植栽位置が不規則な植木ほ場では、果樹や野菜でのロボット利用等の事例をそのまま導入することは難しいと考えられる。 そこで、除草剤の剤形や散布方法・散布機、さらにそれらを組み合わせるなど、植木ほ場で利用可能な技術についての研究を要望する。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	近年開発された除草剤用の高濃度、少量散布ノズルは、面積当たりの散布量が従来の1/5～1/20の量での雑草防除が可能であり、作業時間の短縮、省力化に有効です。また、果樹分野で試験中の追従型ロボットを利用した除草剤散布が利用可能と考えられます。これらの知見を活用して普及指導部署で対応します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			